



### Charles Rennie Mackintosh

チャールズ・レニー・マッキントッシュ 1868-1928

#### アーツ&クラフツ運動

スコットランド・グラスゴー生まれ。アーツ&クラフツ運動の推進者でアール・ヌーヴォーの提唱者の一人。グラスゴー美術学校の夜間部でデザインとアートを学ぶ。後に妻となるマーガレット・マクドナルド妹のフランス・マクドナルド、ハーバード・マククニーと運命的に出会う。4人「The Four」はグラスゴー・スタイルの展覧会を開きウィーン分離派に影響を与えた。



Hill House  
by Charles Rennie Mackintosh



ARGYLE  
by Charles Rennie Mackintosh

### Eileen Gray

アイリーン・グレイ 1878-1976

#### 繊細な造形感覚優雅な空間性

アイルランド・ブラウンズ・ウッド生まれ。ロンドンのスレード美術学院で4年間デザインを学び、フランス・パリのアカデミー・コラロッシュとアカデミー・ジュリアンで芸術を学ぶ。日本人工芸家・菅原精造に出会い、漆工芸を学び作品を生み出す。建築家としての処女作 E1027 でモダン建築とモダン家具の融合として発展し、数々の名作を具現化した。



Roquebrune Chair  
by Eileen Gray



E1027 Side Table  
by Eileen Gray

### Frank Lloyd Wright

フランク・ロイド・ライト 1867-1959

#### 自然と建築の共存

アメリカ・ウィスコンシン州生まれ。大学中退後シカゴに移り住む。設計事務所に勤め、建築家としての道をスタート。1893年に独立。1905年に初来日し、1912年から日本の帝国ホテル建設にも参加。「デザインとは、自然の要素を純粋に幾何学的な表現手段によって抽象することである」一貫して自然と建築の共存を提唱し、有機的建築を数多く設計。



Midway  
by Frank Lloyd Wright



Barrel chair  
by Frank Lloyd Wright

### Ludwig Mies van der Rohe

ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ 1886-1969

#### Less is more. より少ないことは、より豊かなこと。

ドイツ・アーヘン石工職人の息子として生まれる。家具デザイナーのブルーノ・パウエルや建築家ペーレンスのもとで設計を学ぶ。1921年、全面ガラス張りの「フリードリヒ街オフィスビル」構想案を発表。1929年バルセロナ万博ドイツ・パビリオンを手掛ける。その建築に合わせ細部にわたる完璧さと技術を要するバルセロナ・チェア/スツールを製作。



MR10 by Mies van der Rohe

### Josef Franz Maria Hoffmann

ヨーゼフ・ホフマン 1870-1956

#### ウィーン工房を主宰

チェコ・ブルトニツェの生まれ。ブリュンの国王工芸学院に学び、ウィーン美術工芸学院の教授職、オーストリア工作連盟の議長、コロマン・モーザーと共にウィーン工房を設立、芸術上の指導者として活躍した。プルカースドルフのサナトリウム、ブリュッセルのストックレー邸など建築物や家具、照明、装身具など幅広い分野でデザインを残した。



HausKoller by Josef Franz Maria Hoffmann

### Le Corbusier

ル・コルビュジエ 1887-1965

#### モダニズム建築の提唱者

スイス生まれのフランス人建築家、20世紀を代表する近代建築理論家の巨匠。彼の急進的な建築、都市計画、家具の設計は、実用的な機能を肯定する独自の機能主義の理論に基づいて生まれた。1920年代以降の彼のデザインは、インターナショナル・スタイルの基礎となる。家具は従兄弟であるピエール・ジャンヌレと、シャルロット・ペリアンとの共同作業。



LC2 by Le Corbusier

### Gerrit Thomas Rietveld

ヘリット・トーマス・リートフェルト

#### 赤と青のいすが名作

オランダ・ユトレヒト生まれ。家具職人の父のもとで修業し、1911年に自分の家具工場をはじめ。1918年、モンドリアンらとともに芸術運動デ・ステイルに参加。デザイナーとしては「赤と青のいす」、建築家としては、世界遺産にも登録されているシュレーダー邸が有名である。



Red & Blue by Gerrit Thomas Rietveld

### Michael Thonet

ミハエル・トーネット 1796-1871

#### 曲木の技法で大量生産

ドイツ・ポツパルトでなめし革業の家に生まれた。建具職人の下で修行した後、1819年に家具職人として独立し工房を構えた。薄い木板同士を接着した積層材を曲げることで家具を作り出そうと試みる。最初の転機は1836年に発表された Boppard Chair であった。木を蒸して柔らかくしてから曲げる曲木の技法を発明し、これを工場で大量生産した。代表的な曲木椅子は『14』で19世紀に約5000万脚が生産された。



No.14 by Michael Thonet



No.6009 by Michael Thonet

